

# 成長を続ける介護用品事業者の課題に向き合いながら伴走支援

## 課題

### 建設業からの転換で介護福祉事業へ

株式会社ニシウラは、もともと建設業を営んでいたが、公共工事が減少するなか、経営の危機に直面。そこで、父の後をついだ経営者が新分野の介護福祉事業への転換で会社の立て直しを図った。県内外の病院や介護施設などへの管理委託方式紙おむつコンサルティング事業（おむつフィッター資格者による現場でのフィッティング指導や、コスト管理などを複合的に提供するサービス）を確立し、紙おむつ販売を中心に業績を持ち直した。現在は同社の売り上げの8割は紙おむつ販売で、鳥取県内はもちろん、近県にまでエリアを拡大している。

こうして、病院や施設のスタッフとも良好な関係を構築するなか、車椅子用のテーブルなど、現場の声を反映した自社製品の開発も手がけており、商品開発を通じて大学教授や介護商品のメーカー関係者などとの協力体制も築いてきた。

最近の課題は、営業エリアの拡大で売上高は増加しているものの利益率が低い水準にとどまっていること。用品カタログだけではうまく伝わらず、全国営業の人件費や営業経費が増加しているからだ。また、コンサルティング事業は、支配力の高い同業他社が存在する未進出エリアへの参入は積極的に行うことが難しく、また、あまり遠すぎてもコストがかかるため実施は難しいという問題も抱えている。

## 支援

### 資金繰りから経営革新計画で商品開発や販路開拓支援

鳥取市南商工会では、倒産の危機に直面して経営者が相談にきた2007年以来、資金繰りに始まり、介護事業参入の事業計画の策定（経営革新計画）、車椅子用テーブルの開発や販路開拓など、段階的に伴走支援を続けてきた。

2017年からは、メーカーや医師などの協力のもと、より裾野の広い商品開発を行うため経営革新計画による支援を開始。尿とりパッドと一緒に使用するホルダーパンツの開発につながった。その製造にあたっては、近隣地域の商工会会員事業所を確保でき、柔軟な製造計画を立てることが可能になった。さらに、同社は2018年、医療分野の商品開発に乗り出す。点滴台の転倒防止連結器具の開発だ。これに対しても商工会は、経営革新計画による商品開発と販売計画の事業計画の策



車椅子につけた点滴台転倒防止連結器具

定支援を実施した。こうして同社は、利用者のQOLにつながるホルダーパンツと、医療分野で注目される点滴台転倒防止連結器具の販路開拓で、大手ドラッグストアや医療器の卸売事業者との取引につながった。

今や、山陰地方の病院では紙おむつ販売事業でシェアトップを維持する同社。企業の成長にともなう課題を支援してきた商工会はこれからも、前述のような同社の成長に合わせて生じる課題に対し、タイムリーな情報提供を通じて支援を続けていく。

## 支援の経過

期間	支援内容
2017年5月～6月	商品開発・販売計画の策定
12月	商品開発における製造企業とのマッチング
2018年5月～6月	新商品開発・販売計画の策定
9月～2019年8月	計画実施フォロー 新たな販路開拓に伴う資金繰り表作成支援

## 会社概要

会社名：株式会社ニシウラ  
 住所：鳥取県鳥取市河原町佐貫1093-8  
 電話番号：0858-85-0601  
 URL：https://nishiura.jp/  
 代表者名：西浦伸忠  
 創業年：1977年  
 従業員数：16名  
 商工会名・担当者名：鳥取市南商工会・竹内徹